

安全 対策

安全対策強化中！ 飛び石防止ネットを作成

3月25日（火）に草刈会員を対象とした安全講習会を開催し、22人が作業前の安全点検や作業確認について学びました。講習会終了後には体育室に集まり、草刈り時の飛び石対策として、全員で飛び石防止ネットを作成しました。

ホームセンターで材料を調達したため、安価に作成できました。日下副理事長の考案により、軽くて持ち運びしやすい仕様になっています。ネットはひとグループに1台常備し、道路際や交通量の多い現場で活用していきます。



事故 報告

いきなり作業に入らないで！まずは点検を

新年度に入り就業現場での事故が多発しています。シルバー保険対象外の事故も合わせると4件となり、事故を減らすための対策が急務です。

事故発生現場で共通して言えることは、作業者の「点検不足」と「注意力の散漫」。

焦らず、慌てず、立ち止まり、前後左右に気を配り、安全を確保したうえで作業を行いましょう。



	事故発生日	仕事内容	事故のあらまし
1件	5月30日 男性・80歳	草刈り	発注者敷地内を刈払機で除草していたところ、門扉自動開閉制御盤の電線ケーブルを刈り刃で切断した。
2件	6月9日 男性・68歳	マイクロバス運転	羽咋市内の水道施設敷地内に駐車のためバックしていたところ、後方の街路灯に気付かず接触した。児童が乗車していたが怪我はなかった。

熱中症対策の強化について

令和7年6月1日に改正労働安全衛生規則が施行されました。対象となるのは、「WBGT（暑さ指数）28度以上又は気温31度以上の環境下で連続1時間以上又は1日4時間を超えて実施」が見込まれる作業です。該当の現場では作業の中断をお願いします。また上記の作業に該当しない場合であっても、熱中症のリスクが高まる現場については同様の対応を行うものとします。死亡に至らせない（重篤化させない）ために必要な対策となりますので、ご協力をお願いいたします。

＊羽咋市シルバー人材センター緊急連絡先 ☎080-5854-4949（事務局職員が対応します）

「応急手当講習会」のおしらせ ～AEDで助かる命があります～



- * 日 時 令和7年7月3日（木）
午前9時～10時半
- * 場 所 勤労者総合福祉センター
2階和室
- * 人 数 15名ほど
- * 締 切 6月30日（月）
- * 内 容 心肺蘇生法や熱中症予防など
受講希望者は事務局にお申し込みください
あなたの勇気で命を救います。毎年知識を更新しましょう

安全 就業

ヘルメット用の名前シール 作成します

「名前」や「血液型」をヘルメットに明記したい方はシールを用意します。希望される方は事務局（高嶋）まで。

※医療現場では、輸血を行う前に必ず患者本人の血液型を確認する厳格な手順が定められています。

ヘルメットに表示された情報だけで輸血を行うことはありません。



シールの色は2種類です

①白地に黒字

②黄色地に黒字

事故 事例

他県で発生 剪定作業中の重篤事故

【全シ協 安全ニュース4月報告分より一部抜粋】

事故があった現場は複数人で行っており、折れた枝が危険な状態にあることに気付いていたにも関わらず、起こってしまった事故でした。「大丈夫だろう」という油断が、命に係わる事故につながります。今日は大丈夫でも、明日も何も起こらないとは限りません。

性別等	区分等	事故のあらまし
男性・80歳	就業中 （死亡）	公園の雑木伐採中、伐採した木が隣接する木の枝（直径約25cm）にあたり、その枝が折れ、落下せずに垂れ下がった状態になる。その枝の付近で作業をしていた被災者に、枝が落下（約5m）し頭を直撃した。急性硬膜下血腫。安全帽の着用あり。

【編集後記】

今年度から安全・適正就業委員会の委員長になりました井上です。よろしくお願いいたします。
安全は、本人が良いと思っても他の人から見るとまた違うと思います。若いころより高齢化してくると動きが悪くなりますので、少しのことで怪我につながります。安全に事故が無いようお願いします。

安全・適正就業委員長 井上達司